

光徳ハルニレ希少個体群保護林

希少-27

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 日光森林管理署
所在地	栃木県 日光市
面積	13.71ha
設定年	2004(H16)年
保護林の概要 (設定目的)	戦場ヶ原北東部の標高約1400mのかつての氾濫原に成立している純林状のハルニレ群落であり、学術上貴重である。このため、当該地域の湿潤立地において土地的極相林として成立しているハルニレの生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2012年、2017年、2023年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、ハルニレが生育する林分において調査プロットを計1か所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測および植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	防護柵内にあるため、保護対象種であるハルニレやそのほか群落を構成する成木は、健全に生育しており、本保護林は良好な状態で維持されていると評価できる。 保護対象木に剥皮等の被害は発生していないが、プロット内の林床植生にシカの食痕が見られたことから、柵内においても徐々にシカの影響がおよび始めていると考えられるため、今後、さらに影響に留意してモニタリングしていく必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。